



(写)

交企秘第46号  
令和7年8月8日

北陸新幹線早期全線開業実現大阪協議会  
代表 大阪府知事 吉村 洋文 様

交野市長 山本 景



北陸新幹線早期全線開業実現大阪大会への参加拒否への  
抗議及び代表の発言への再抗議について

リニア中央新幹線に係るトンネル工事の影響により、生活用井戸等の水位低下等が生じております。そのため、交野市は、北陸新幹線の小浜・京都ルートにおける交野市地下のトンネル工事により、水道水源の約8割を占める地下水の枯渇や減水が生じる可能性を深く憂慮しています。なぜならば、地下水なくして、7万7000人の交野市民は生活できないからです。そのため、交野市は事業主体である独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備機構に対し、北陸新幹線の詳細ルート決定までに水道水源である地下水の枯渇や減水が生じないか調査するよう求め、現在、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備機構による調査が進められています。

そうした中で、北陸新幹線の小浜・京都ルートを前提とする北陸新幹線早期全線開業実現大阪大会が開催されることは、交野市として容認できないと考えています。そのため、昨年度、北陸新幹線早期全線開業実現大阪大会にて交野市の主張を伝えたいと申し出ましたところ、大阪府は交野市の申し出を拒否したにもかかわらず、報道機関に「申し入れを断ったという認識はなかった」と答えました。令和7年6月24日、北陸新幹線早期全線開業実現大阪大会の招待状を受領したことから、改めて交野市の主張を伝えたいと申し出ましたところ、大阪府は、交野市の申し出を拒否するのみならず、令和7年7月17日には、「機運醸成を図るための会なので、場にそぐわないと判断した」として、出席すら拒みました。しかしながら、代表は、令和7年7月29日に『『京都の水はどうなるんだ』とか、さまざまな意見も出る中で、今回参議院選挙においても、この『米原

ルート』をきちんと比較検討した上で、決めたほうがいいんじゃないか』、と発言しています。北陸新幹線早期全線開業実現大阪大会を延期したとはいえ、水道水源の約 8 割が地下水である交野市の意見表明の申し出の拒否や参加を拒んだ理由と全く整合性が取れておらず、大阪府の自治体である交野市への差別であり、あまりにも許せない対応だと考えます。

7 万 7000 人の交野市民の生活がかかっている以上、交野市としては看過できないことから、北陸新幹線早期全線開業実現大阪大会への参加拒否へ強く抗議するとともに代表の発言へ改めて強く抗議します。